

けやきの森病院新病棟整備事業 環境共生協定書の内容

平成 25 年 10 月 16 日付けで締結された環境共生協定書の内容は、以下のとおりです。

1 事業の概要

事業の名称	けやきの森病院新病棟整備事業
協定区域	高座郡寒川町宮山 3505
実施者	医療法人社団 朋友会

2 有効期間並びに協定の効力及び承継の範囲

本協定に掲げる環境共生の取組については、本計画により整備する施設の一部改修や再整備までの間、環境共生協定の効力が及ぶものとする。なお、施設の一部改修や再整備を行おうとする場合は、必要に応じ、甲（神奈川県）、乙（寒川町）、丙（医療法人社団 朋友会）協議を行うものとする。

3 協定の運営・管理方法

本協定に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、関係法令等に基づき適正に管理し、運営をする。

4 環境共生の取組の概要

目標	環境共生の取組の方向	環境共生の取組内容	
<p>目標1 自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり</p>	<p>樹齢数百年のけやきの大木群をはじめ、クスやシュロなどの敷地周囲の既存樹木をできるだけ保存し、敷地全体への緑陰を確保するほか、周辺と一体となった植物・動物生育生息空間を保全するように配慮する。</p>	○	1 大幅な土地形状の変更を抑制する
		○	2 気候緩和のための計画的な緑地を配置する
		○	3 地域の風の流れに配慮した土地利用及び建物配置とする
		○	4 既存の樹林地、草地、水面、農地等を保全する
		○	5 新たな緑地を整備する
		○	6 雨水の地下浸透能力を強化する
			7 自然の水辺空間を保全及び再生する
			8 貴重動植物種の保全対策をする
		○	9 地域・地区の特性に沿った植物・動物生育生息空間を確保する (その他、事業者が独自に取組む項目)
<p>目標2 環境への負荷を低減する都市づくり</p>	<p>建具の位置や仕様を検討し、自然換気、自然採光をできる限り取り入れる計画とする。建物全体に高効率の照明器具を設置する。設備配管の更新スペースを確保し、劣化の早い給湯配管は寿命の長いステンレス管を用いるなど建物の長寿命化をはかる。</p>	○	10 パッシブソーラーシステム等を導入する
		○	11 省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する
			12 太陽熱利用温水機器を導入する
			13 太陽光発電施設・設備を導入する
			14 風力を発電等に活用する
		○	15 長寿命の建築物を建設する
		○	16 建築物、外構等にリサイクル材を使用する
		○	17 建設発生土の発生を抑制する
			18 ゴミ分別収集システムを導入する
			19 生ゴミ処理機（コンポスター等）を導入する
			20 中水道システムを導入する
			21 雨水貯留施設を導入し雨水を活用する
		○	22 上水道の節水設備を導入する 23 コージェネレーション設備等による地域冷暖房、地域熱供給システムを導入する (その他、事業者が独自に取組む項目)
<p>目標3 環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり</p>	<p>敷地入口から建物出入口まで、手摺を設けるなど、安全な歩行者空間を確保するほか、駐車場や駐輪場などのスペースを広めに確保する。また、駐車場や前面道路との間には特にけやきの大木を多く保存する。</p>	○	24 施設の整備規模に応じた駐・停車スペースを確保する
			25 公共交通機関への乗り継ぎ・乗り換え環境を整備する
			26 公共交通の導入を前提とした道路を整備する
		○	27 自転車・歩行者空間を整備する
		○	28 施設の整備規模に応じた駐輪場を整備する
			29 生態系に配慮した道路を整備する
			30 騒音低減や透水性に配慮した道路舗装とする
		○	31 植栽・緩衝緑地帯を整備する
			32 低公害車に対するサービス拠点を整備する (その他、事業者が独自に取組む項目)
		<p>目標4 地域アメニティを創出する都市づくり</p>	<p>建物の高さを周囲の高木より低く抑えるほか、外壁の色を既存建物に合わせ周囲に馴染むような計画とする。また、建物内は全て段差なしとしている。</p>
	34 水とふれあえる場を整備する		
○	35 地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする		
	36 災害時に利用出来るような施設を適切に配置する		
○	37 高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する (その他、事業者が独自に取組む項目)		

5 環境共生の取組の実施方法

	項目	環境共生の取組の実施方法
目標 1	1	建築物の設置箇所以外は、既存の土地形状のままとする。
	2	樹高 20mを超えるけやきの大木群を保存し、敷地全体に緑陰を確保する。
	3	風の流れを遮らないように、既存建物との距離を離す計画とする。
	4	樹齢数百年のけやきの大木群をはじめ、クスやシュロなどの敷地周囲の既存樹木をできるだけ保存する。特に、当該病院の特徴であるけやきの大木群は一本も伐採せずすべて保存する。
	5	建物の周囲にはベニカナメモチなどの目隠しも兼ねた樹木を配置し、敷地の環境になじむ計画とする。
	6	雨水浸透樹、浸透トレンチを使用し、雨水流出抑制に努める。
	9	敷地周辺は、比較的まとまったみどりが多く残る地域であり、けやきの大木をはじめ、敷地周囲の既存樹木をできるだけ保存し、周辺と一体となった植物・動物生育生息空間を保全するように配慮する。
目標 2	10	自然光が入る部屋はガラス部分を大きくしたり、FIX ガラスではなく可動するサッシを採用するなど、建具の位置や仕様を検討し、自然換気、自然採光をできる限り取り入れる計画とする。
	11	1階ホールなどに LED を採用し、病室やデイルームなどに Hf 型蛍光灯を採用するなど、建物全体に高効率の照明器具を設置する。また消し忘れの多い倉庫、トイレ等の部屋は人感センサーとする。
	15	建物を長く使用できるように内部の壁はできる限り乾式壁とし改修に対応し易い仕様とする。また、設備配管の更新スペースを確保し、劣化の早い給湯配管は寿命の長いステンレス管を用いる。
	16	外構工事において再生クラッシャーランを使用した。
	17	基礎掘削時の残土は既存建物解体後の埋戻しに使用した。
	22	手洗は自動水栓とし、節水型便器を採用する。
目標 3	24	既存建物解体後の、けやきの大木を保存した広いスペースに、来院者用の駐車場を設けるほか、駐車場と建物の間には、緊急車両用スペースを広めに設ける。
	27	敷地入口から建物出入口まで、歩行者空間を確保し、スロープ部分には手摺を設けるほか、駐車場から建物入口まで、安全に歩行できるように、横断歩道を設ける。
	28	建物の西側脇に、来院者用の駐輪場を設ける。
	31	前面道路との境界には、特にけやきの大木やシュロなどの既存樹木を多く保存する。
目標 4	33	2階に広いテラスを設け、建物から出ることができない患者が緑と触れ合える空間を確保する。
	35	建物の高さは、周囲の高木より低く抑える。また、外壁の色は既存建物に合わせ周囲に馴染むような計画とする。
	37	建物内は全て段差なしとし、トイレ、浴室、廊下には手摺を設置する。また、建物内の点字ブロックはつまずきの原因となるので、玄関からの案内は職員が対応する。